



# 学校だより (校長室から)



小松市立蓮代寺小学校  
令和6年7月16日発行  
蓮代寺小学校長  
TEL 0761-22-1011  
FAX 0761-22-9652



## 横田アナウンサーの 「言葉のチカラ」講座



7月4日(木)にフリーアナウンサーの横田幸子氏を講師に迎え、「言葉のチカラ」講座が本校5・6年生対象に開かれました。空調のある大きな部屋が学校にないため、木場潟公園東園地内の多目的ホールをお借りし、新しい木の香りいっぱいの素敵な環境の中で、言葉がもっている目に見えないエネルギーのお話を伺いました。アナウンサーとしての経験を生かし、子どもたちにもおなかから大きな声を出す発声練習をしたりして、90分という長い講座でしたが、子供達はしっかりと話を聞き、心にたくさんのお土産をもって学校に帰ってきました。

- ◆言葉には目に見えないエネルギー(波動)があり、良い波動は元気や勇気が出る。
- ◆言葉は時には「刃(やいば)」となり人の心を深く傷つけることもある。心の傷はトラウマとなって何年も消えることがない。
- ◆会話は人と人の心のキャッチボール。相手の心にしっかりと届けるように話すことが大切。
- ◆人には「闇の心」(怠け心・意地悪・壊す心)と「光の心」(一生懸命 思いやり 創り出す心)の2つが必ずある。光の言葉を使うことをいつも心がけることで人の絆が生まれる。



心に残ったことは、言葉にエネルギーがあるということです。自分が落ち込んでいる時に励まされた言葉があったからです。言葉には刃(やいば)もあるということが分かりました。今まではそれを知らずに使っていました。この勉強をして友達がいることが今まで以上に本当に良かったと思いました。横田さんありがとう。

ぼくは、これからの生活でも「闇の心」をなくし「光の明るい心」をもって過ごしたいと思いました。これからは相手の気持ちを考えて生活をしていきたいです。友達全員のいいところを探して、悪いところを注意するのも本当の友達としての優しさだと分かりました。「聞く力」「伝える力」「思いやる力」「励ます力」を大切にしていきたいです。

私は横田さんの話を聞いて「本当の友達」とはということが心に残りました。これからは本当の友達をどんどん増やして大切にしていきたいです。もう一つ心に残ったことは「言葉は刃(やいば)」ということです。悪口を言い合うのはナイフを投げ合うのと同じということ。自分もそんなことがあるなあと思いました。言葉の使い方には気を付けたいです。

## 「救急救命法講習会」



7月3日（水）育友会生活安全指導委員会主催の「救急救命法講習会」が本校で開かれました。今年から熱中症の心配があるため夏休み中の自由水泳がなくなり、保護者のプール監視もありませんが、日常の中でとっさに心肺蘇生ができるということは心強いものです。参加された保護者の皆さん、ありがとうございました。

【消防士から心肺蘇生の手順を学ぶ】



## 「集団下校訓練」しています



今年は春からすでに何度もクマの出没情報が出ており、今後台風や大水などの自然災害も心配されます。緊急時には児童の安全を確保するために集団下校をします。今回も緊張感をもって訓練することができました。



【町ごとに素早く集まり先生の話聞く児童】



## 「アルミ缶回収にご協力を！」

蓮代寺小学校では、随時アルミ缶を回収し、収益金で児童の学習に必要な本やボール等を購入させていただいています。回収場所は児童玄関の裏です。水洗いしたアルミ缶をビニル袋に入れ、結び目を下にしてかごの中に入れてください。ご協力よろしくお願いします。



放送委員会が企画した、「七夕短冊を書こう！」子供達は玄関にある短冊に自由に願い事を書き、放送委員がお昼に放送してくれました。

「七夕短冊を書こう！」



願い事

放送委員

